



いのち支える

令和6年8月9日
厚生労働大臣指定法人・一般社団法人 いのち支える自殺対策推進センター

メディア関係者各位【報道依頼】

【長期休み明けの「こどもの自殺リスク」に備えるプロジェクト】 いのち支える「逃げ」について、こども・若者に考えてもらう、 参加型の啓発活動「#逃げ活」ツールを公開・全国で実施予定

長期休み明けに「こどもの自殺リスク」が高まる懸念があることを踏まえ、厚生労働大臣指定法人・一般社団法人「いのち支える自殺対策推進センター」（東京都千代田区、代表理事・清水康之）は、「生きる」ための手段として「逃げる」ことの大切さを、こども・若者に考えてもらう啓発活動「#逃げ活 ～こころの逃げ場、ここにあるよ～」を企画しました。

「#逃げ活」は、「逃げる」ことに関連する自身の考えやエピソードを書いた付箋を、「いのち支える」ロゴの印刷された台紙に貼り付ける、参加型の啓発活動です。誰もが自由に参加することができる活動で、自分の中にある「逃げたいきもち」に気づくことや、他の人の書き込みを読んで「こんな逃げ方があるのか」などの新しい発見を得る機会を提供します。これにより、こどもや若者が無意識のうちに抱きがちな「逃げる」ことへの抵抗感や偏見をなくし、必要なときには積極的に「逃げる」ことを選択できる、しなやかな生き方を後押しできればと考えています。

こどもたちの自殺リスクが高まるとされる夏休み明け前後の時期から、全国数か所で「#逃げ活」の開催を予定しています。また、本活動の趣旨に賛同くださる団体・機関向けに、ダウンロード形式のツールキットの提供を開始しました。この活動が広まり、こどもや若者が追い込まれる前に「逃げる」ことのできる、生き心地の良い社会づくりに役立てられるよう、ぜひ本活動の報道にご協力をお願いいたします。

■企画概要

【企画名】「#逃げ活 ～こころの逃げ場、ここにあるよ～」

【内 容】「#〇〇から逃げたい」「#逃げたいきもちを吐き出そう」「#逃げたいときのやり過ごし方」「#逃げてよかった体験談」の4テーマに沿った内容を付箋に書き、「いのち支える」ロゴの台紙に貼る参加型の啓発活動

【場 所】全国で随時開催予定（こども食堂、若者の居場所、児童館、図書館等）

【時 期】2024年8月10日(土)～

▼こども食堂（神奈川県）でのモデル実施の様子

※実施予定の団体・開催日等の情報は、[#逃げ活サイト](#)内の「[開催実績](#)」を順次更新します。



※実施場所への取材は、直接、実施団体にお問い合わせください。

<本件に関する問い合わせ先>

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人 いのち支える自殺対策推進センター
こども・若者自殺対策室 #逃げ活プロジェクト事務局（担当：北爪・後藤）

campaign@jscp.or.jp / 03-6272-9446（代表電話）

#逃げ活

～ニニろの逃げ場、ニニにあるよ～



今を「生きる」ために「逃げる」、#逃げ活。

逃げることは「恥ずかしく」て「よくないこと」でしょうか。
忍耐強く我慢して、責任を果たすことのみが「よいこと」なのでしょうか。

積極的な逃げは、生きるための手段です。
逃げたいきもちをシェアし、しなやかに生きるヒントを得ましょう。

企画



厚生労働大臣指定法人・一般社団法人
いのち支える自殺対策推進センター
Japan Suicide Countermeasures Promotion Center (JSCP)